

令和6年8月21日

党所属国会議員 各位

自由民主党本部総裁選挙管理委員会
委員長 逢沢一郎

総裁選挙に向けた諸活動について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る8月5日の第1回総裁選挙管理委員会において、本委員会の委員長を務めさせていただくこととなりました。今般の総裁選挙が公平公正に行われるよう、自民党再生につながる総裁選挙になるよう、全力を尽くします。各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

昨日の第2回総裁選挙管理委員会において、総裁選挙の施行期日をはじめ、党員投票に関する特例措置、議員投票や党員投票の投開票要領を決定いたしました。

また、昨日の管理委員会におきましては、これらの決定事項と併せ、総裁選挙の選挙運動の在り方に関して、「金のかからない総裁選挙」「金をかけない総裁選挙」としていくことを確認しました。

総裁選挙の選挙運動は、党営を基本としており、個々の候補者に過剰な支出が生じない形になっておりますが、告示以前については、その制約はありません。

この度の総裁選挙は、「自民党が変わる」「自民党を変える」決意にふさわしい選挙でなければなりません。告示前であっても多額の費用をかける運動は許されないという認識を全党員が共有すべきです。

以上を踏まえ、昨日の総裁選挙管理委員会におきまして、「今回の総裁選に関する告示前の活動(いわゆる事前運動)についても、極力、費用をかけないよう努めるべき」との見解を共有し、総務会でもご理解いただきました。

つきましては、党所属国会議員各位におかれましても、本委員会の見解についてご理解をいただき、国民の皆様からの信頼回復につながる総裁選挙となるよう、特段のご協力をお願い申し上げます。

以上